

三沢市議会民生常任委員会

所管事務調査資料①

平成 25 年 5 月 20 日

健康福祉部

生活福祉課

三沢市の生活保護動向

①保護状況（世帯数、実人員、保護率）について

平成7年度以降、当市の被保護世帯数・人員数は年々増加傾向にあり、平成19年にはその増加傾向がやや鈍化したが、20年のリーマンショック以降再び急増、23年度には対前年比1割以上の増加率を示した。24年度においては、対前年度比増加率1割を切ったものの、平成25年1月には403世帯（505人）と過去最高となり、今後も更に増加していくものと予測される。

	22年度		23年度		24年度	
	月平均	前年比(%)	月平均	前年比(%)	月平均	前年比(%)
世帯数	352	106.6	368	104.5	385	104.6
人員数	420	106.0	459	109.3	482	105.0
保護率(%)	9.99	106.8	11.16	111.7	11.86	106.3

②相談件数及び申請件数について

相談件数は、平成22年度には約150件に急増したが、23年度は19年度以前なみまで減少。しかし、24年度における相談件数は対前年比約4割増加した。申請件数については対前年比1割弱となっており、平均年齢57歳と若年化している。相談件数に対する申請割合は5割であった。

	22年度		23年度		24年度	
	延べ数	前年比(%)	延べ数	前年比(%)	延べ数	前年比(%)
相談	146	127.0	84	57.5	118	140.4
申請	48	96.0	55	114.6	59	107.3

③開始世帯数及び廃止世帯数について

開始世帯数は、前年度と同じであるも、相談数および申請数より、今後も引き続き増加するものと予測される。

	22年度		23年度		24年度	
	延べ数	前年比(%)	延べ数	前年比(%)	延べ数	前年比(%)
開始	48	104.3	51	106.3	51	100.0
廃止	27	122.7	39	144.4	23	59.0

平成24年度の保護開始の主な理由を見ると、高齢・失業（求職中）などによる収入および預貯金等の減によるものが54.9%と、高い割合を占めている。

次いで傷病によるものが17.6%、ケース移管が15.7%、仕送り等の減が5.9%となっている。

保護廃止の主な理由を見ると、約5割は死亡によるものであり、働きによる収入の増加等による保護の廃止世帯は、約2割弱程度に留まっている。なお、親類等の引取や仕送り増等

での廃止についてはほぼ皆無であり、依然として景気が停滞している影響が感じられる。

【平成 24 年度保護開始及び廃止理由】

開始理由別	世帯主の傷病	世帯員の傷病	要介護状態	稼働者の 死亡・離別	失業	年齢による収 入の減	給付金等の減	預貯金等の減	仕送り等の減	ケース移管	その他	計
		9			1	1	10	1	18	3	8	
廃止理由別	傷病治癒	死亡	失踪	稼働収入の 増・取得	働手手の転入	給付金等の増	仕送り等の増	親類等引取り	施設入所	ケース移管	その他	計
		10		4					3	5	1	23

④年度別生活保護費の推移（扶助別決算額）

生活保護受給世帯の増加に比例して、年々増加している。その保護費の占める割合は、医療扶助が全体の約 5 割を占めている。

（単位：千円）

種 類	22 年度	23 年度	24 年度
生活扶助	259,678	278,252	289,817
住宅扶助	62,954	69,137	73,501
教育扶助	2,147	2,667	2,373
介護扶助	15,495	17,178	18,430
医療扶助	332,984	353,264	380,456
出産扶助	0	234	401
生業扶助	717	531	944
葬祭扶助	514	1,486	136
施設事務費	12,977	12,472	9,052
合 計	687,466	735,221	775,113

⑤世帯類型別の内訳について

世帯類型別の構成割合でみると、全体の 6 割が高齢者世帯であるが、近年、稼働能力がある者を含むその他世帯において、23 年度は 19 世帯、構成比 5.2%であったものが、24 年度においては 34 世帯、構成比 8.7%と伸び率が顕著となっており、稼働能力がある者を含む世帯が失業・離職等により生活困窮に陥り、生活保護受給となっていることを示している。傷病世帯においては構成比が 2 割減、高齢・母子・障害世帯においてはほぼ前年と変わらない構成比となっている。

【月平均】

年度	総数	高 齢			母子	障 害			傷 病			そ の 他		
		単身	複数	小計		単身	複数	小計	単身	複数	小計	単身	複数	小計
22年度	352	201	15	216	11	38	3	40	50	17	67	13	5	18
23年度	368	204	17	221	14	35	5	40	52	22	74	14	5	19
24年度	385	212	19	231	14	36	7	43	50	14	64	20	14	34

【構成比%】

年度	高齢	母子	障害	傷病	その他	単身	複数
22年度	61.4	3.1	11.3	19.0	5.2	85.8	14.2
23年度	60.1	3.8	10.9	20.0	5.2	82.9	17.1
24年度	60.0	3.6	11.1	16.6	8.7	82.6	17.4